


観光社会資本の事例

テーマ	異国情緒あふれる街並みに相応しい道路空間「八幡坂通」
【施設の状況写真】	
	
函館港にまっすぐ伸びる八幡坂通は、港を見下ろす絶好の観光スポットとされている。	景観に配慮し、石畳舗装やガス灯風の街路灯を配置している。
【施設の利用写真】	
	
石畳の坂の上から正面を見ると函館港に浮かぶ「メモリアルシップ摩周丸」が映る。坂の上から見える港の眺望を背景にして、多くの観光客はこの場所で記念写真を撮っている。明かりに彩られる夜景の時間も観光客は多い。	
【観光資源としての利用状況】	
八幡坂通が位置する西部地区は函館発祥の地であり、わが国初の国際貿易港として開港して以来、各国の外国人居住地であったことにより、領事館や教会等の洋館が多く建てられました。これら諸外国の文化の影響を受けて、西部地区には洋風や和洋折衷の建物が多く建ち並び、周囲の石畳と一体となり函館独特の異国情緒あふれる観光エリアを形成しています(函館市への観光客の年間入込数約500万人:H16)。	
この観光エリアの中で八幡坂通は港を一望できる絶好の眺望ポイントであり、坂の上から函館港に浮かぶメモリアルシップ摩周丸を望む景色が、道内外からの観光客に人気の観光スポットの1つになっており、多くの観光客がこの場所で函館港をバックに記念撮影をしています。映画やドラマ、CMなどのロケ地としても有名です。また、歩道部には手摺付きの階段を配置していますので、歩行者は坂道が急でも安全に通行しています。	

テーマ	異国情緒あふれる街並みに相応しい道路空間「八幡坂通」
【社会資本の基礎データ】 名称 八幡坂通(はちまんざかどおり) 所在地 北海道函館市元町～末広町 事業名 身近なまちづくり支援街路事業 事業主体 函館市 事業期間 平成13年度～平成16年度	
【社会資本の役割・効果】 八幡坂通は明治時代に石畳により整備されて以降、改修前まで幾度の補修等をしていましたが、傷みが非常に激しい状態で歩行者や車両の通行に支障をきたしていたほか、大きく成長した街路樹により、坂の上からの眺望が悪くなっていました。 平成14年度から16年度にかけて行った改修工事では、石畳の打ち替えや歩道部の一部階段化、ロードヒーティングを施工したことによって、歩行者や車両が安全で快適な通行を確保することができるようになりました。 さらに、景観に配慮した石畳舗装や街路灯のデザイン化等により、西部地区独特の異国情緒ある街並みと一体となった空間が形成され、また、電線類の地中化や街路樹の樹種及び配置を見直したことによって、開けた眺望が確保され、以前にも増して、観光スポットとして観光客に好評を得ています。	
【位置図】  <p>アクセス 函館市路面電車 末広町電停より徒歩5分</p>	
【関連ホームページ】 函館市商工観光部(函館観光情報ホームページ:地区別観光ガイド:元町編) http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/syoukan/kankou/sight/guide/area/motomati.html	